


2月の「図書館おすすめ絵本」です

2月5日（日）は、栗盛記念図書館の多目的室で「図書館でボードゲーム」を開催します！今回は「ナインタイトル ポケモンドコダ」というポケモンのゲームも新登場。ぜひお友達やご家族と一緒に遊びにきてください。午後2時から4時まで、出入りは自由です。

★ 新着絵本 ★

	書名	「ラッキーカレー」		分類	Eラ
	著者	シゲタ サヤカ // 作	出版社	小学館	
ある夜のこと。おなかがペッコペコなおじさん・ペッコペコさんは、晩ご飯にカレーライスを食べることにしました。ところが、ラッキョウが無いことに気づいて席を立ち、再び戻ると…。シュールで楽しいユーモア絵本。（所蔵：栗盛）					
「フライパン ヤア」	最高に、はん「ぐう」りいな本能を呼び覚ますオノマトベ絵本。おいしそうな食べ物といっしょに、不思議な響きを口に転がせば、ママもパパも、おばあちゃんもおじいちゃんも、赤ちゃんといっしょに絵本を楽しめる。（所蔵：栗盛）				
「この本はよまれるのがきらい」	読まれたくない本が、読まれないために必死で逃げる。さて、どうやって…？とちゅうで字を読めなくしたり、わけのわからない言葉をならべたり、あらゆる手をつけて読む人のじゃまをする、遊び心満載のナンセンス絵本。（所蔵：栗盛）				
「ぐいーん！ こうしよさぎょうしゃ」	看板を修理、トンネルの天井を点検、飛行機を洗ったり、クレーン車と一緒に大木の枝を切ったり、台風の時停電した電線を直したり…。ちょっと地味だけど、注意して見ていると、毎日そこそこで目にする高所作業車の仕事を描く。（所蔵：栗盛）				
「ぼくだけがしている ヘンテコなきかいのしくみ」	身の回りにある、きかいのひみつを教えてあげるね…。目覚まし時計やお掃除ロボット、トイレの中では小さな人たちが働いていて、実は彼らがきかいを動かしているんだよ。世にも不思議でヘンテコなきかいのしくみをユーモアいっぱいで紹介する絵本。（所蔵：栗盛）				

★ 『せつぶん／まめまき』の絵本 ★

	書名	「まめまきバス」		分類	Eマ
	著者	藤本 ともひこ // 作・絵	出版社	鈴木出版	
今日は節分。なのに、町では、咳をしたかいじゅうおにが大暴れし、みんなに風邪をうつしていました。バスとねずみたちは、かいじゅうおにをやっつけようと豆を投げますが、豆は全然届かなくて…。（所蔵：栗盛／おおとり号）					
「ねこまるせんせいとせつぶん」	ねこまる先生は、町外れのこども園「ごさかなえん」の見習い先生。本物のトラ猫です。今年の節分は、ねこまる先生が鬼の役になって、子どもたちの豆攻撃から逃げ回ります。さて、何がおきるでしょう？（所蔵：栗盛／花矢）				
「まめまきできるかな」	まこちゃんは、まだじょうずにボールが投げられない。お父さん、おばあちゃんと練習しても、うまくいかない。そこで、お母さんが煎り豆の入った枀を持ってやってきて…。まこちゃん、豆まき、ちゃんとできるかな？巻末に節分についてのミニ解説つき。（所蔵：花矢／比内）				
「せつぶんワイワイまめまきの日！」	節分の日、弱虫たかしのところへ現れたのはなんと、オニの子キッチ。たかしはキッチといっしょに、いじめっこになってしまったつよしのところへ向かいます…。作って&食べて楽しい節分の豆知識もあります。（所蔵：比内）				
「せつぶんセブン」	節分の日にやってきた「せつぶんセブン」。大豆を炒って準備をしたら、子どもたちといっしょに鬼のお面づくりを始めます。ますの中に豆を入れてもらって、鬼の役と豆まきの役にわかれたら…。（所蔵：栗盛／花矢／おおとり号）				